

弘前大学学報



オープンキャンパスの様子

第 137 号
平成27年 8月号

目 次

学内ニュース

- 文科省の「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」に2名採択！ ----- 1
- 平成27年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式
及び第7回共同研究体験発表会を開催----- 2
- 「教育に関する表彰式」を実施しました ----- 3
- 平成27年度弘前大学オープンキャンパスを開催 ----- 5

諸 会 議 ----- 6

人 事

- 人事異動 ----- 7

主要日誌 ----- 8

学内規則 ----- 9

文科省の「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」に2名採択！

文部科学省が実施している官民協働海外留学支援制度「官民協働海外支援制度～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」の第3期生に本学から有馬一輝さん（人文学部3年）、中川慧美さん（人文学部3年）の2人が選ばれ、8月2日に派遣学生の壮行会が文部科学省で開催されました。

このプログラムは文部科学省がグローバル人材育成を目的に2014年度から始めたもので、支援企業・団体からの支援や寄附をもとに、官民が協働して学生の留学を支援するものです。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を同プログラムの派遣留学生として海外に送り出す計画で、派遣される学生には奨学金が与えられるほか、事前・事後研修なども実施されます。

2015年度後期に派遣される第3期には全国の大学から1,290人（212校）の応募があり、書面・面接審査を通過した404人（113校）が合格しました。

9月からの派遣が決まっている中川さんは、中国・上海へ留学する予定で「前半は華東師範大学で語学を勉強し、後半は、みちのく銀行の支援を受けて、県産品の輸出拡大を実際に販売・市場調査を通して学び、青森県と海外の橋渡し役になって、青森県の活性化に貢献したい」、2016年3月からアメリカ・ニューヨーク近郊の農場でりんごの栽培について学ぶ予定の有馬さんは、「世界的に多くのりんごの生産量を誇るニューヨークでりんごの栽培法を学び、青森りんごとの違いを比較することで、青森りんごのPRポイントを見出し、グローバルな視点で捉え、これからの青森の活性化のためにすべきこと、TPPに参加した場合の対応策を見出したい」と抱負を語りました。



中川慧美さん(左)と有馬一輝さん(右)



平成27年度「科学者発見プロジェクト」
テーマ賞表彰式及び第7回共同研究体験発表会を開催

平成27年8月3日（月），弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大において，平成27年度「科学者発見プロジェクト」テーマ賞の表彰式を開催しました。本事業は，日常のささいな「疑問や興味，アイデア等」を青森県内の小・中・高の児童・生徒から広く募集し，その提案に基づいた研究テーマを本学研究者と共に体験する双方向的な試みであり，本学の地域貢献の一環として平成20年度より実施しています。

応募された中から，発展性，意外性，独創性に優れた研究テーマを選考し，弘前市立北小学校5年 青木 奎昂さんの「2つの目で見ているのになぜ1つに見えるのか」をはじめ，7件（小学校1件，中学校3件，高校3件）が「テーマ賞」に採択されました。表彰式では，佐藤学長から表彰状が授与された後，研究テーマ毎に本学教員からいただいた激励のコメントが紹介されました。そして，学校関係者及び保護者などが見守るなか，受賞者を代表して，青森県立三戸高等学校1年，横山美音さんが，受賞へのお礼の言葉と今後の共同研究に対し，「将来，教科書に載るような研究ができれば」と意気込みを語りました。

引き続き，第7回共同研究体験発表会が行われ，柏倉理事（研究担当）の挨拶の後，昨年度共同研究を実施した「なぜソーラーパネルは光の種類によって，動いたり，動かなかったりするのだろうか？」（弘前大学教育学部附属小学校）等7件の研究成果の発表が行われました。その充実した発表内容は未来の科学者を期待させるものであり，共同研究体験を通じて「関心を探求するプロセス」を研究者と共に体験することで，大学をより身近に感じてもらうよい機会となりました。



表彰する佐藤学長と受賞者



代表して挨拶する横山美音さん

「教育に関する表彰式」を実施しました

去る8月7日（金）、「教育に関して優れた業績を上げた教員」の表彰式を、弘前大学附属図書館2階グループラーニングルームにおいて、引き続き「優秀な成績を修めた学生」の表彰式を、同3階グループラーニングルームにおいて行いました。

表彰式には、各学部等から推薦された教員6名中5名、学生26名中22名が出席し、伊藤教育担当理事・副学長をはじめ各学部長・研究科長が見守る中、佐藤学長から一人ひとりに表彰状と副賞が贈呈されました。

また、学長から祝辞とともに今後の活躍を期待する旨の励ましの言葉があり、これを受けて、教員を代表して医学研究科の中澤満教授から、学生を代表して人文学部3年の橋本拓也さんから謝辞とこれからの飛躍を誓う決意が述べられました。



佐藤学長（前列中央）、伊藤理事（前列左から3番目）と表彰された教員と各学部長・研究科長ら



佐藤学長，伊藤理事と表彰された学生と各学部長・研究科長ら

平成 27 年度弘前大学オープンキャンパスを開催

8月8日（土）、「弘前大学オープンキャンパス」を開催しました。晴天のもと、県内外の高校生や引率の教員など、6,250名が参加しました。

各学部等では、模擬講義、実験・実習体験、研究室解放、学部長や在学生と語るコーナー等多彩な企画を準備しており、参加者は教員や学生の話に熱心に聞き、弘前大学の雰囲気を感じとっていました。

今回は、特別企画として「大学の学び」への招待をテーマにした公開講座「ひろだいナビゲートレクチャー」を2講座実施し、多くの参加者の関心を集めました。

また、キャンパス内の歴史的な建物や各学部を紹介するキャンパスツアーを実施、総合相談コーナーでは、高校生や保護者の関心が高い入学試験、奨学金、学生寮、就職状況等の情報について担当者が個別にわかりやすく説明を行い、好評を得ました。



■ 諸 会 議

8 月中に開催された会議はありませんでした。

人 事 異 動

[採用]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|--------|-------|-----------------------|
| H27年08月01日 | | 斎藤 絢介 | 助手(病院) [H32.7.31まで] |
| H27年08月13日 | | 木田 祥子 | 一般職員(理工) [H28.6.30まで] |

[育児休業]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|------------|--------|---------------------|
| H27年08月01日 | 一般職員(学務・就) | 小枝 明香 | 職務復帰 |
| H27年08月01日 | 看護師(病院・看護) | 村山 麻由香 | 職務復帰 |
| H27年08月09日 | 看護師(病院・看護) | 對馬 美雪 | 育児休業開始 [H28.3.31まで] |
| H27年08月13日 | 一般職員(理工) | 福士 佳奈子 | 育児休業開始 [H28.6.30まで] |

[休職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|-------------|--------|--------------------|
| H27年08月01日 | 看護師(病院・看護) | 大沢 美紗姫 | 期間延長 [H27.09.30まで] |
| H27年08月19日 | 一般職員(病院・医事) | 久保 貴子 | 休職開始 [H27.09.30まで] |
| H27年08月25日 | 看護師(病院・看護) | 斎藤 優美 | 休職開始 [H27.09.26まで] |
| H27年08月26日 | 一般職員(医) | 小豆畑 早苗 | 休職開始 [H27.09.30まで] |
| H27年08月28日 | 主任(医) | 和田 丈稔 | 休職開始 [H27.09.30まで] |

[離職]

| 発令年月日 | 現職(所属) | 氏名 | 異動内容 |
|------------|--------|-------|------|
| H27年08月17日 | 助教(病院) | 鈴木 香 | 辞職 |
| H27年08月31日 | 助教(医) | 西澤 尚徳 | 辞職 |
| H27年08月31日 | 助教(医) | 廣瀬 勝己 | 辞職 |

主要日誌

- 8月 1日 ねふた出陣式
ねふた参加日
- 3日 「科学者発見プロジェクト」テーマ賞表彰式及び第7回共同研究体験発表会
ねふた参加日
- 5日 ねふた参加日
- 7日 教育に関する表彰式
- 8日 オープンキャンパス
- 13日 夏季一斉休業（～15日）
- 23日 東北地区国立大学法人等職員採用試験1次試験

■ 学内規則

8 月中に改正された規則等はありませんでした。

弘前大学学報第137号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111